愛知県立衣台高等学校の教育内容について

本校の教育内容の特徴は以下のとおりです。
①日本人・外国人がともに学び合い、「多文化共生」をテーマとした学習に取り組んでいます。
②日本語の学習が必要な生徒へ、「ことばの力」を伸ばす授業を用意をしています。
③開かれた学校へ、地域社会の力を借りて、教育環境の整備に努めています。

詳細はこのスライドにまとめていますので参考にしてください。
日本語以外でお読みいただく場合は、このPDFデータを翻訳ツールや生成AIサービスを利用して翻訳してください。

The key features of our school's educational program are as follows:
① Japanese and international students learn together and engage in studies centered on the theme of "multicultural coexistence."
② For students who need to learn Japanese, we offer classes designed to develop their "language skills."
③ An Open School: With the support of the local community, we strive to improve our educational environment.
Please refer to this slide for more details.
If you would like to read this document in a language other than Japanese, please use a translation tool or an AI-powered translation service to translate this PDF file.

多文化共生部

日本の学校教育が抱える問題

外国にルーツのある生徒の教育をどうするのか

①母語能力の未発達
　思考の土台である母語を学ぶ機会がない
②母文化理解の不足
　自らのルーツである母文化を知る機会がない
　⇒自分が何者であるかという確たる自信がない
　　状態（アイデンティティの喪失）
③日本語教育
④日本文化・社会への理解
⑤日本社会からの孤立

新しい教育モデルに向けて

日本人・外国人がともに学ぶ学校モデルの創設
キーワード「多文化共生」「衣台モデル」

①母語能力の未発達
②母文化理解の不足
→ 母語・母文化を尊重した授業
従来の教育：「日本語を使いなさい」

③日本語教育の転換
→ 母語で思考し、日本語でアウトプット
新たな日本語教育

④日本文化・社会への理解
⑤日本社会からの孤立
→ 開かれた学校へ
社会全体で子供たちの育成を
公的機関・民間企業の力を借りた教育

⑥多文化共生
→ 愛知県初の外国ルーツの生徒を支援する
県立中高一貫校へ
☆日本人と外国ルーツの生徒が学び合う
全国的に珍しい取り組み
多文化共生をテーマとした教育の整備



県立中高一貫校

社会を変えるチェンジ・メーカーを育てる

将来の予測が難しい時代や社会において、答えのない課題に挑み、社会に変化を起こす「チェンジ・メーカー」育成を目的とし、一人一人の個性や能力を最大限に引き出します。

開校時期	類型		学校名	中学校の募集人員
2025年4月	探究学習重視型		明和	普通コース 80人
				音楽コース 20人
			津島	80人
			半田	80人
			刈谷	80人
2026年4月			西尾	80人
			豊田西	80人
			時習館	80人
	地域の教育ニーズ対応型	不登校	日進	40人まで
		外国人	衣台	(連携型)
		地域人材	美和	(連携型)
	高度ものづくり型		愛知総合工科	40人

多文化共生部の目標

1　これからの国際社会を主体的に生きる力を育て、多文化共生社会を担う人材を育成する。

2　地域を担う人材として目指す生徒像は以下のとおり。

すべての生徒

：多文化共生への理解を深め、異なる文化的・言語的背景をもつ人々と協働し、地域社会を担うことのできる人材を育成する。

外国にルーツのある生徒

：日本社会への理解を深め、多様な文化的背景をもつ地域社会をつなぐことのできる人材を育成する。



連携型中高一貫教育について



テーマ：「多文化共生」

中高生が多文化共生社会について学び合い、
共に暮らしやすい地域社会を考えます。

連携校　豊田市立保見中学校

内容　交流会を通し、以下の内容に取り組みます。

第１回交流会　相互理解

中高生が動画やパワーポイントで自校紹介に取り組みます。

第２回交流会　母文化・異文化の理解

自らの文化や異文化を学びます。自らのアイデンティティを
見つめ直します。

第３回交流会　多文化共生社会について考える

すべての人が安心して暮らせる社会について考えます。
中高生が自分の意見を発表し、意見交換を行います。
これからの地域社会について考えます。

開かれた学校へ

公的機関・民間企業の力を借りて教育環境の整備に努めます。

1　公的機関との協働

①豊田市防災対策課

防災：災害時にどうするか　自助・共助・公助

②名古屋出入国在留管理局

法律：外国人受け入れ体制について　在留資格と就職・進学

③愛知県社会保険労務士会

社会保障：医療・健康保険、年金、福祉について

④豊田市地域交流課・循環型社会推進課

地域コミュニティ：自治区制度・町内会　ゴミ出しのルール

2　民間企業との協働

①トヨタ自動車株式会社をはじめとした地域の製造業

外国にルーツのある生徒を対象としたキャリア教育プログラムの提供

②三井物産株式会社（豊田市産業人材活躍課の仲介）

ブラジルにルーツのある生徒への支援

外国にルーツのある生徒たちの可能性

産業人材として

①日本社会を理解した人材

②日本語教育を受けた人材

③多言語を操る人材

日本語・英語・ポルトガル語・フィリピノ語
中国語・スペイン語・ベトナム語・ネパール語
タミル語・クメール語・インドネシア語など

④日本式教育を受けた人材

衣台高校の可能性

新たな教育モデルの創設

・最新の日本語教育の提供
（母語・母文化を重視した学習）

・6年間一貫した教育内容の提供
（日本語教育・多文化共生学習など）

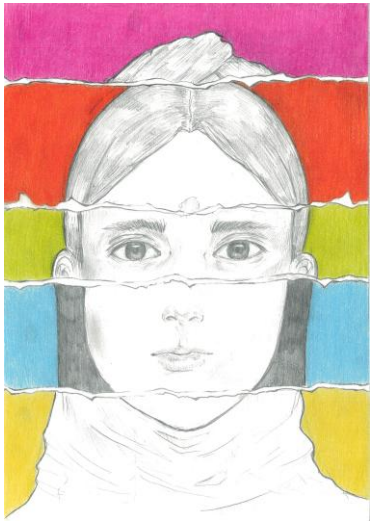
※連携校の豊田市立保見中学校生徒が入学した場合です。高校から入学した生徒は３年間の学習となります。

・公的機関・民間企業等の力を借りた教育の提供

豊田市役所　　名古屋出入国在留管理局
トヨタ自動車株式会社　三井物産株式会社

衣台高校のキーワード

・多文化共生
・多様性
・調和



「異なる私たち、ひとつの社会」
上からシク教のターバン、ネパールのティカ、西洋的な目の特徴、アジア的な顔の特徴、ヒジャブ

社会の力を借りて

多様な背景をもつ子供たちに、社会とつながりを生かしたポジティブな接触の質と量を提供へ

①学校外での体験型・実践型学習を通じて子供たちの可能性を伸ばす。
　職場見学　仕事体験　インターンシップ
②外国にルーツのある生徒へロールモデルを提供する。
　様々な国籍や文化的背景をもつ社員との交流
　子供たちへ将来のイメージを
③地域の企業と連携した学びを通じ、生徒の将来につながる原体験の機会を。

➡ 地域社会の一員として受け入れられているという実感を通して、自己肯定感の向上を

衣台高校連携型中高一貫教育　～多文化共生社会の実現に向けて～

目標　これからの国際社会を主体的に生きる力を育て、多文化共生社会を担う人材を育てる。

学年	１年	２年	３年
テーマ	自己理解・自己表現・相互理解 ・自己のルーツや自国の文化を知る。 ・自己（自校）紹介、他者を理解する。	問題提起・問題解決法の探究 ・文化的同一性を問い直す。	社会・地域に向けての提言 ・多文化共生社会を生きるために。
内容	１　学習プログラム		
	授業UDの推進 日本語学習の推進 　授業「日本語Ａ」　「わかる」授業の実践 　放課後「日本語教室」 読書プログラム	授業UDの推進 日本語学習の推進 　授業「日本語Ｂ」　「わかる」授業の実践 　放課後「日本語教室」 読書プログラム	授業UDの推進 日本語学習の推進 　授業「日本語Ｃ」　「わかる」授業の実践 　放課後「日本語教室」 読書プログラム
	２　探究プログラム		
	中高連携事業 　第１回交流会（11月） 　　内容：中高相互の紹介 　第２回交流会（１月） 　　内容：母文化と異文化の学習	中高連携事業 　第３回交流会（９月） 　　内容：中高生が考える多文化共生社会	中高連携事業 　社会・地域への発信 　　内容：多文化共生社会の実現に向けて
	３　キャリアプログラム		
	外国人生徒進路説明会（進路） 衣台知識講座１	外国人生徒進路説明会（進路） 衣台知識講座２	外国人生徒進路説明会（進路） 衣台知識講座３・４
	４　教職員のスキルアップ		
	保見中学校との研修会	保見中学校との研修会	保見中学校との研修会

外部機関との連携授業　「衣台知識講座」 専門機関の力を借りて、国籍に関係なくすべての生徒が社会の仕組みやルールを学ぶ。 １　防災：災害が起きた時、どう対応するべきかを学ぶ（防災ゲーム　避難所運営ゲームなど）。 ２　法律：社会で生きていくために必要な知識を学ぶ（在留資格と仕事　進学など）。 ３　行政：税と社会保障について学ぶ（医療・健康保険　年金　福祉など）。 ４　地域コミュニティ：地域社会で生活するために必要な知識を学ぶ（ゴミ出し　町内会など）。	民間企業との連携 トヨタ自動車株式会社 三井物産株式会社

まずはじめに

生徒向けガイダンス資料から

これからの衣台高校（ころもだいこうこう）のキーワード

「多文化共生（たぶんかきょうせい）」

Living in harmony with different cultures

異（こと）なる国（くに）や文化（ぶんか）の人々（ひとびと）が、互（たが）いの違（ちが）いを認（みと）め合（あ）い、協力（きょうりょく）しながら共（とも）に生（い）きる。

It is important for people from many different cultures to respect each other's traditions and live together in cooperation.

É importante que pessoas de muitas culturas diferentes respeitem as tradições umas das outras e vivam juntas em cooperação.

衣台高校はどうなるの？

生徒向けガイダンス資料から

1　国籍にとらわれず、これからの多文化共生社会を担う人材を育てる。

Our school is nurturing future leaders for a multicultural society regardless of nationality.



2　すべての生徒の能力や可能性を引き出す。

Our school is bringing out the abilities and potential of all students.

生徒向けガイダンス資料から

中高一貫校ってどうなるの？

保見中学校との連携

2024年　連携教育の開始

衣台１年生　保見２年生　交流開始

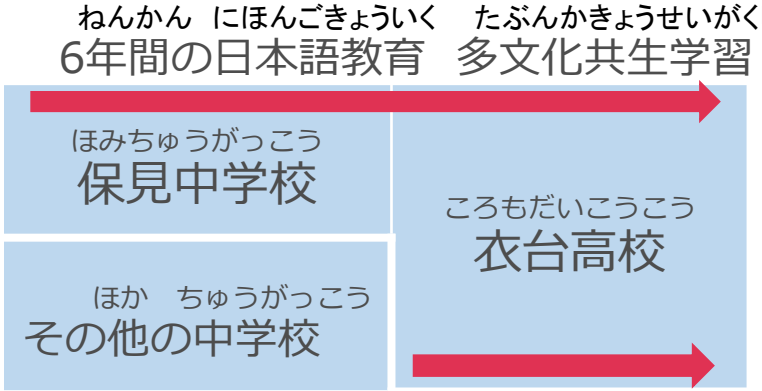
2025年

衣台２年生　保見３年生

衣台１年生　保見２年生

⇒総合的な探究の時間

交流会の開催



2026年～　連携教育を受けた中学生の希望者が入学

もくひょう
目標

生徒向けガイダンス資料から

1　中高生(ちゅうこうせい)が、一緒(いっしょ)に多文化共生社会(たぶんかきょうせいしゃかい)について考(かんが)えよう。

Let's think about multicultural society together with junior high school students.

2　国籍(こくせき)や習慣(しゅうかん)などの違(ちが)いをお互(たが)いに大事(だいじ)にする学校(がっこう)をつくろう。

Let's create a school that values each other's differences in nationality, customs, etc.



生徒向けガイダンス資料から

では、何をするの？

交流会の開催

２年生

第３回交流会　９月中旬

衣台高校体育館（保見中学校生徒が来校）

１年生

第１回交流会　11月上旬

両校の各クラス（オンラインにて）

第２回交流会　１月下旬

衣台高校　教室　体育館

（保見中学校生徒が来校）

生徒向けガイダンス資料から

2年生の皆さん！



来週から総合で準備をはじめますよ。

内容

多文化共生をテーマに学習する。

成果を中学生へ発表し、意見を交換する。

例　・外国人が日本の生活で困っていることはなんだろう。

・日本人・外国人がともに暮らしやすいのはこんな社会だ。

・私の考える多文化共生とはこういうことだ！

・多様性って何だろう？

発表方法

PowerPoint　Word　動画など

生徒向けガイダンス資料から

1年生の皆さん！

来週から総合で準備をはじめますよ。



第1回交流会

内容

衣台高校の紹介

授業　部活動　学校行事　高校生活　など

衣台はどんな学校でしょうか。

アイディアを出して作品をつくろう。

発表方法

動画　PowerPoint　など

第２回交流会

生徒向けガイダンス資料から

「衣万博　KOROMO EXPO」

過去の例

○国紹介

ブラジル　フィリピン　ネパール　ペルー
インドネシア　カンボジア　ベトナム　日本

○スポーツ

カバディ（インド・スリランカ）
モルック（フィンランド）
ホウバ　バンデイラ（ブラジル）

○学校紹介

進路　部活動



かつどう　ようす
活動の様子

だいにかい　こうりゅうかい
第２回交流会①

ころもだいこうこう　かいさい　ころもばんぱく
衣台高校にて開催　テーマ「衣万博　KOROMO EXPO」





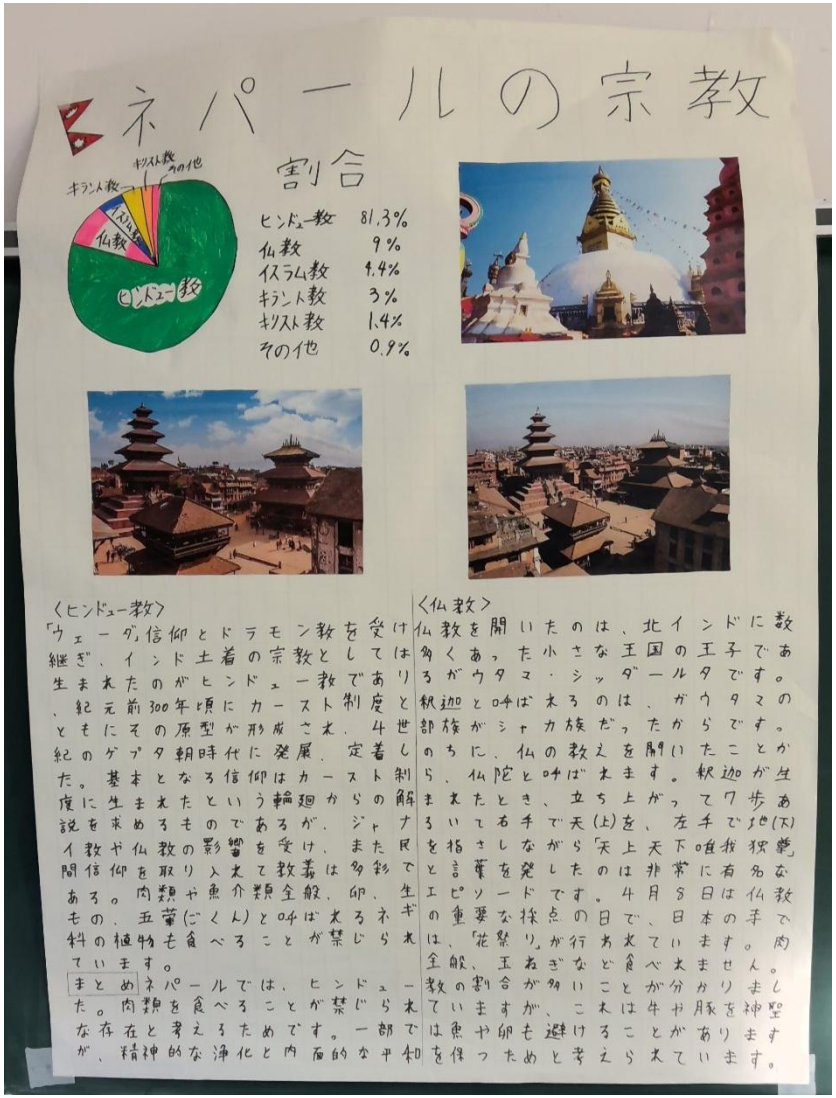
だいにかい　こうりゅうかい
第２回交流会②





だいにかい　こうりゅうかい

第２回交流会③





第３回交流会

中高生が今後の多文化共生社会について考えた学習成果を発表し合いました。



衣台高校の日本語教育について

①教科「日本語」

多言語・多文化の子どもが、彼らの持つすべての言語レパートリーを活用し、「ことばの力」を向上へ

②放課後日本語教室の実施

日本語能力試験（JLPT）に向けて

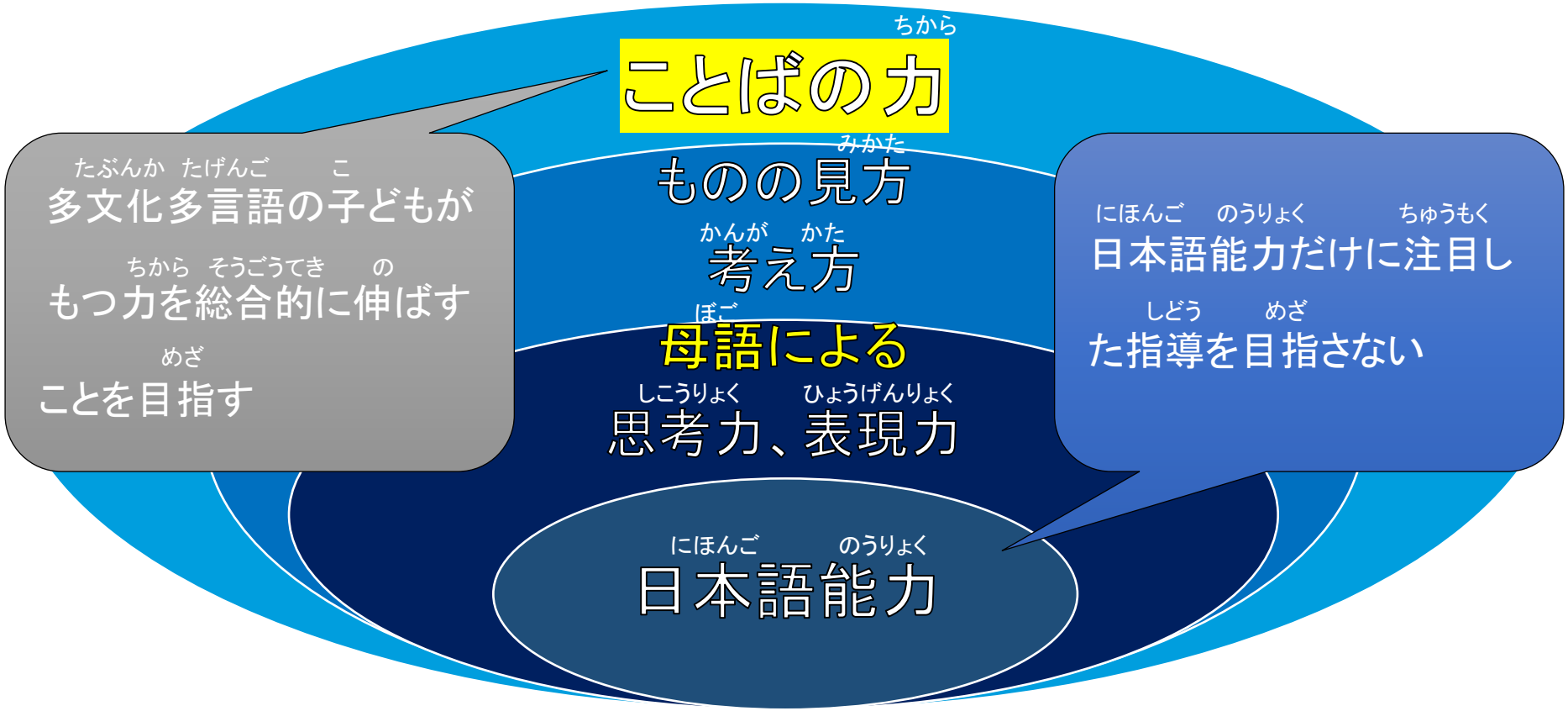
③外国語教育支援員の活用

教科「日本語」の開設

教育目標

外国につながる生徒たちが
日本社会を生き抜くための
“ことばの力”を育てる。

“ことばの力”の学習観


ことばの力
ものの見方
考え方
母語による
思考力、表現力
日本語能力
多文化多言語の子どもが
もつ力を総合的に伸ばす
ことを目指す
日本語能力だけに注目し
た指導を目指さない

【学習活動】

多言語で考え、日本語で伝える

❶ 自分のことを知る、深める

2単位

- 私のフォトストーリー
- 心の歌紹介
- 私のスクールライフ

❷ 他者とつながる、ぶつかる

2単位

- 世界むかしばなし
- ディベート
- ロールモデルと私の未来

❸ 進路実現へ

1単位

- 強みを見つける
- 履歴書、志望理由書
- 卒業研究（仮）

授業の様子

グループワーク

プロジェクトごとに、**効果的なグルーピングによって相乗効果**を狙う



ディスカッション

話し合いの場や振り返りでは、**多言語の力を最大限に活用**する



発表

自らの言語レパートリーを駆使して、**他者との共有を深化**させる



リサーチ

バイリンガル、バイリテラルな人間としての成長と質の高い学びのために、ICTや翻訳機能を活用する

生徒の多文化多言語の力を活用したプロジェクト型学習

自らの言語レパートリーを駆使して内容を深め、

そのあとで日本語の力を向上させる

放課後日本語教室

目的　日本語能力検定（JLPT）合格を目指す。

指導　日本語教育支援員

毎週火曜日の授業後に開催

外国人生徒教育支援員

言語　ポルトガル語　スペイン語

タガログ語　中国語　ベトナム語

内容　授業への参加　翻訳業務

保護者会への参加　保護者連絡時の担任支援